

登録コード	E4133900	開講年度	2026				
授業科目	学習・言語心理学					担当教員	三和 秀平
英文授業名	Psychology of Learning and Language					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限		対象学生
講義室	教育泉会館1号室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習・言語心理学にかかわる話題について解説をし、理解を深める。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス, 言語・学習心理学とは 第 2 回：言語心理学・学習心理学に関する考え方, 研究の歴史 第 3 回：古典的条件づけ 第 4 回：オペラント条件づけ 第 5 回：条件づけの応用 第 6 回：社会的学習 第 7 回：学習と問題解決 第 8 回：学習と動機づけ 第 9 回：言語の習得 第10回：非言語的・前言語的コミュニケーション 第11回：言語理解と産出 第12回：言語と推論 第13回：言語・学習心理学の応用 第14回：まとめと教育に生かすために 定期試験 学期最終回の授業で「授業アンケート」を実施する 受講者の関心などにより内容を変更することがある 教育実習等で欠席をした場合は別途課題を出す						
(6)成績評価の方法	期末課題 70% 授業への取り組み 30% 期末課題では言語・学習心理学における基礎的について評価する 授業への取り組みでは、問題を見つけ考える力や教育活動に応用する力を評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】言語・学習心理学に関する高度な知識を得て、自律的に考え、教育活動に応用する力をかなり高い水準で身に着けている。 【かなり上にある】言語・学習心理学に関する高度な知識を得て、自律的に考え、教育活動に応用する力を高い水準で身に着けている。 【やや上にある】言語・学習心理学に関する高度な知識を得て、自律的に考え、教育活動に応用する力を身に着けている。 【その水準にある】言語・学習心理学に関する知識を得て、自律的に考え、教育活動に応用する力を身に着けている。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習として、授業前に前の授業内容をどの程度理解しているのかを確認しておく。 加えて、授業前に指定した教科書の範囲に目を通しておく。 事後学習としては、授業で学んだ内容をもう一度復習し、身近な問題に置き換えて考えておく。 60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	グループワークなどを行うことがある。積極的に参加すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談は研究室にて受け付ける。						
【教科書】	楠見孝（編集）・野島一彦・繁樹 算男（監修）（2019）公認心理師の基礎と実践 第8巻 学習・言語心理学 遠見書房						
【参考文献】	郷式徹・西垣順子（2019）学習・言語心理学―支援のために知る「行動の変化」と「言葉の習得」― ミネルヴァ書房 波多野 誼余夫・稲垣 佳世子（1973）知的好奇心 中公新書 針生悦子（2019）赤ちゃんはことばをどう学ぶのか 中公新書ラクレ						